青臨技会誌投稿規定

・本要領および著作権について

青臨技会誌へ論文を投稿される方は，本要領を参考に論文を作成の上，投稿してください．論文投稿形式については，「青森県臨床検査技師会」のホームページ（http://www.aoringi.org）よりダウンロードできます．

なお，掲載原稿の著作権は青森県臨床検査技師会に帰属することをご了承願います．

・投稿資格

1. 筆頭者は日本臨床検査技師会会員に限る．ただし依頼原稿の場合はこの限りではない．
2. 著者数は筆頭著者と連名著者を合わせて8名以内とする．

・執筆要項

1. 原稿の一枚目には表題，著者名，勤務先，所在地を書く． 欧文と数字は文字数に関わらず半角で入力する．
2. 日本語のフォントはMS 明朝を用い，英字のフォントはCentury またはTimes New Roman を用いる．
3. 日本語の句読点は全角の「，」(コンマ)，「．」(ピリオド)を使用する．
4. 図，表，写真は本文中の挿入箇所に朱筆し，原稿末尾に添付する．ほかからの引用は出典を明らかにする．
5. 専門用語以外は常用漢字，現代仮名づかい，横書きとし， 外国語はタイプにするか，活字体で明瞭に書き，日本語化しているものはカタカナとする．
6. 度量単位表など投稿に関する詳細は「度量衡の単位」のページを参照のこと．
7. 文献は引用順に整理し論文末尾に一括する．引用は原則として20 字以内にまとめ，著者が3 名以上の場合は筆 頭者のみをあげ，“ほか”，“et al”とする．雑誌名は Index Medicus および医学中央雑誌刊行会収載目録の略名に準ずる．

記載例

(雑誌の場合)

著者：標題．誌名巻数：始頁～終頁，発行年

(単行本の場合)

著者：標題．書名，始頁～終頁，編集者，発行所，発行地，発行年

8. 表・図は一枚の画像とし，テキストなど加筆が必要な場合は他のソフトを用いて画像へ変換すること．
9. 菌名等の学名はイタリック体で表記するか，下線をつける．
10. 事務局への提出には Microsoft Word ファイルと，PDF にしたものの 2 つのファイルを提出．（必要時にはExcel ファイルも提出）

原稿の分類

1. 原著：オリジナルな内容のもの，23 枚以内．標題．著者名，図表を含み刷り上がり6 ページとする．
2. 研究：追試，改良等に関するもの．15 枚以内．
3. 試薬と機器：試薬，キット，機器，器具の紹介のための検討等．15 枚以内．
4. 資料：管理運営，調査等に関するもの．15 枚以内．

(2.～4.の現行規定数は標題，著者名，図表を含み，刷り上がり4 ページとする．)

5. 検査室ノート：機器等のアイディアや工夫をまとめたもの．3 枚以内．
6. 外国文献紹介：標題を含め2 枚以内．
7. 海外ひろば：教育，資格等の制度，留学生活，施設等の紹介．3 枚以内．
8. 読者のページ：会員読者の自由なスペースです．建設的な意見，見聞，感想等，あるいは創作の詩・随筆など．8 枚以内．
9. 書評，お知らせ：3 枚以内
10. 質問：技師法等，検査法等，測定原理等．3 枚以内．

論文投稿に当たって

編集業務を円滑に行うため，投稿規定を熟読のうえ次の点に注意してください．

1. 投稿規定の厳守（特に図表を含めた数，および他学会・他誌に発表していないこと).
2. 論文の形式は，論文内容により若干異なるが代表的な形式として要旨（キーワード含む），本文は以下のようにまとめる．
   ・要旨（600 字以内）
   ・キーワード（5 語以内）

Presented by Medical*Online

・Ⅰ はじめに(序文)
・Ⅱ 対象ならびに方法
・Ⅲ 結果(成績)
・Ⅳ おわりに(結語)
・Ⅴ(謝辞)
・■ 参考文献

3. 見出し番号の付け方

大見出し(ローマ数字):Ⅰ Ⅱ Ⅲ ・・・

注:ローマ数字と見出しとの間には「半角スペース」を挿入

中見出し(算用数字):1, 2, 3, ・・・

注:算用数字(半角), カンマ(半角), 中見出しとし, 半角スペースは用いない

小見出し:1), 2), 3), ・・・

注:算用数字(半角), 右括弧(半角), カンマ(半角), 中見出しとし, 半角スペースは用いない

小小見出し:(1), (2), (3), ・・・

注:左括弧(半角), 算用数字(半角), 右括弧(半角), カンマ(半角), 中見出しとし, 半角スペースは用いない

4. 一般的ではない(特定専門分野の)欧文, 略語を使用する場合は, その語句及び略語がでてくる最初のところで次のように書く.

例:モチリン(motillin),

競合性たん白結合分析 (competitive protein binding assay:CPBA)

5. 図および写真の標題は図の下段に書き, 表の標題は表の上段に書く.

6. 数字は算用数字を用いる. 度量衡の単位は漸次 SI 単位で表記すること.

投稿規定に基づき, 常用漢字(常用漢字音訓表: 平成 22 年内閣告示第 2 号), 現代仮名づかい(送り仮名の付け方:)を用いる(専門用語など特殊なものを除く).

例:必須→ひっす, ・・・した頃→したころ,

その他→そのほか, ・・・等→・・・など

常用漢字表(平成 22 年内閣告示第 2 号)
https://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/kijun/naikaku/kanji/

送り仮名に関して
https://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/kijun/naikaku/okurikana/index.html

1. 送り仮名の付け方には「本則」と「許容」があり, 通常では本則が使われるので本誌でも本則で実施する.

例:おこなう→行う(許容では行なう, 以下同義), おわる→終わる(終る), あらわす→表す・現す(表わす・現わす), あたる→当たる, (当る), といあわせ→ 問い合わせ(問い合せ), ことわる→断る(断わる)

2. 漢字書きか, カナ書きにするかの語句は, 専門用語などの特殊なものを除いて, 「公用文作成の要領」(昭和 27 年内閣々甲第 16 号依頼通知), および「公用文における 漢字使用等について」(昭和 56 年内閣々甲第 138 号) によって実施する.

1) 次のような語句は, 原則として「平仮名」で書く.

( )内は用いない.

ように(様に) ぐらい・くらい(位) ほど(程) とき(時) こと(事) ともに(共に) わけ(訳) とおり(通り) できる(出来る) いただく(頂く・ 戴く) ください(下さい) ごとに(毎に) ために (為に) など(等) 現在のところ(所) ころ(頃) までに(迄に) 子供ら(子供等) 子供たち(子供達) また(又) ただし(但し) および(及び) ゆえに(故に) なお(尚) まず(先ず) なぜ(何故) われわれ(我々)おおむね(概ね) ますます(益々) ぜひ(是非) ただ(只) いずれも(何れも) ちょうど(丁度) さらに(更に)

2) 次のような語句は, 原則として「漢字」で書く.

併せて 従って 新たに 改めて 必ず 例えば 既に 主に 常に 時々 何か 再び 誠に 全く 割に 直ちに 次いで 次々に 程々に 余りに 極めて 一般に 一向に 一概に 一気に 一斉に 一挙に

3) その他, 特に注意を要するもの. ( )内は用いない.

1ヵ月 (1ヶ月) 分かる(判る・解る) 頂く(戴く)
一生懸命(一所懸命) 入れ替え (入れ換え)
大幅(大巾) 夏季(夏期) 偏る(片 寄る) 体(身体)
勘違い(感違い) 起因(基因) 効き目(利き目) 歳(才)
差異(差違) 減少(減小) 十分(充分) 趣旨(主旨)
情勢(状勢) 小差(少差) 持論(自論) 新型(新形)
推薦(推選) 隅(角) 即時(速時) 体形(体型)
手作り(手造り)

記述・用語

1.一般用字, 用語:専門用語以外は, 常用漢字, 現代かなづかい, 横書きとし, 数字は算用数字としてください.

2.数字, 欧文:数字, 欧文は半角とし, 菌名等の学名はイタリック体で表記してください.

Presented by Medical*Online

〈例〉 *Staphylococcus aureus*

3.読点は全角カンマ「, 」を用い, 文末は「. 」を用いてください.

4.専門用語:特殊なものを除き, 原則として和文とします(日本語化しているものはカタカナとします).

1)「がん」と「癌」の表記について

①原則的に「癌」はひらがなで「がん」と表記してください.

②明らかな上皮性の悪性腫瘍である場合には「癌」を用いてください.

③「臓器名+がん」は上皮性以外の腫瘍も含むこともあるため「がん」としてください.

2)顕微鏡の倍率表記について

①鏡検写真の表記について

撮影時の対物レンズ倍率(100×, 60×, 40×, 20×, 10×, 4×)で表記してください.

②総合倍率について

1,000 倍 → ×1,000, 400 倍 → ×400,

200 倍→ ×200, 100 倍→ ×100,

40 倍→ ×40, ×1,000(油浸レ ンズ 100×).

以後は 100× で表記してください.

③強拡大について ×400(対物レンズ 40×)で表記してください. 以後は撮影倍率を表記してください.

④弱拡大について ×100(対物レンズ 10×)で表記してください. 以後は撮影倍率を表記してください.

3)計算盤の表記について(欧文+計算盤)

①Fuchs-Rosenthal 計算盤

②改良 Neubaur 計算盤

③Bürker-Trürk 計算盤(ドイツ語)

4)遠心力の表記 遠心力「*g*」イタリック体で表記してください.

5)水素イオン指数(potential of hydrogen; pH)で表記してください.

6)蒸留水は精製水で表記してください.

7)モル濃度表記は mol/L, mmol/L としてください.

1N は使用しないでください.

8)「エタノール」の表記で統一してください. 病理ではアルコールの種類を厳密に区別してください.

9)「遠心機」で表記してください.

10)健常者/健常人で表記してください.

11)アドレナリン(adrenaline)・ノルアドレナリンで表記してください.

12)染色方法の表記について 1 初出は「和文(欧文;略語)」染色または「和文(欧文)」染色としてください. 2 初出以後は, 「欧文+染色名」で記載してください.

〈例〉ヘマトキシリン・エオシン染色(HematoxylinEosin; HE)→ HE 染色

〈例〉メイ・グリュンワルド・ギムザ二重染色 (May-Grünwald Giemsa;MG 染色)

*ドイツ語 (略:May Giemsa 染色)(MG 染色)

13)菌名についてはイタリック体で表記してください.

〈例〉 *Staphylococcus aureus*

度量衡の単位

1)接頭語には次のもののみを用いる,

2)接頭語を二重に用いない;*μμg*(*γγ*)→*pg*

3)長さに関して;*mμ*→*nm*, Å→0.1*nm* あるいは 100*pm*, *μ*→*μm*

4)用量の単位に「L」を用い, dm^3, c.c., mm^3 などを用いない. dm^3→L, c.c.→mL, mm^3→μL

5)濃度に関して;モル濃度は M→mol/L とし, その他は mg/dL, g/dL, g/L などとするが, 分母を「L」におきかえることが望ましい.

7g/dL→70g/L, 100mg/dL→1g/L(1000mg/L)

原則として分母に接頭語をつけない, 分子量の確定しているものは漸次モル濃度におきかえることが望ましい. また, 桁数の多い数値の場合は, 読みやすくするために, 小数点から数えて左右に 3 桁ずつの群に分ける. 数値の大きさが 1 より小さい場合は, 小数点の前にゼロをおく.

1000→1,000, 10000→10,000 (3 桁カンマを付ける)

.001→ 0.001, .0001→0.0001

6)℃などの記号の場合は, 「37℃」のように数字との間にスペースを置かないが, km, μm などの単位の場合は, 「30 μm」のように数字との間に半角スペースを空ける.

引用文献

文献数は原則的に総説 50 以内, 原著, 技術論文, 資料, 技術講座 30 以内, 症例報告 20 以内とし, 次の形式に則り引用順に記載してください.

著者名(2 名までは併記, 3 名以上は筆頭著者氏名, 他とする):「論文タイトル」, 誌名, 発表年 ; 巻数 : 通巻始頁 - 通巻終頁.

Presented by Medical*Online

欧文文献の場合は，論文タイトルは“ ”で囲み，半角英数 字を使用してください． インターネット上で公開している情報を引用する場合は， 著者名(上記同様２名までは併記)・題名・公開している組 織名・URL・アクセス年(西暦)月日の順に記載してください．

〈例〉

小林徳子，他:「上部尿路上皮癌細胞の腎盂尿管尿・自然尿への出現率について」，医学検査，2013; 62: 241-251.

古田敏彦，他:浜松市内におけるノロウイルス集団食中毒事例.国立感染症研究所.
http://www.nih.go.jp/niid/ja/jasr-sp/2297-related-articles/related-articles-413/4798-dj4131.html(2014 年 8 月 1 日現在)

利益相反(COI：conglict of interest)

稿論文に関して特に企業製品の評価に関する論文に関して助成金を受けている場合などはその旨を必ず記載する．

論文の倫理

1.ヒトを対象とした研究などは，ヘルシンキ宣言およびこれに準拠した倫理規定に従い実施されていることが必須である．原則として関連施設の倫理委員会等の承認を得たことを論文中に記載する必要がある．

2.患者本人などを特定しうる個人情報を本人の承諾無く無断で開示しない．

査読

査読は少なくとも 2 以上で行う．1 名は投稿された論文の担当部門長， もう 1 名は青臨技学術部長または学術部長が指名した青臨技会員が行う．

原稿の取り扱い

原稿の採否および掲載順序等は編集委員会で決定する． 原稿は返却しない．また，多少の字句の修正をすることもありますので，あらかじめご了承ください．

投稿受付

青臨技事務局または学術部長までお問い合わせください．

付則

原稿は青臨技事務局へメールにてお送り下さい．
その際には必ず投稿者自身が常に確認出来るメールアドレスをご利用願います．(投稿内容の修正や校正後の確認に使用致しますので，施設内で共有するアドレスはできるだけ使用しないで下さい)

本要綱は令和 6 年 6 月 1 日付改正版である

Presented by Medical*Online